

成美小だより

☆第48号☆
2023年 1月16日

☆R4年度教育活動アンケート調査の結果について☆

昨年末にご協力いただきました「教育活動に関するアンケート」の結果が集約できましたので、2回に分けて報告します。アンケートの結果を活かして、次年度の学校教育の改善に役立てていきたいと思ひます。

《児童アンケート結果》

設問	そう思う	ややそう思う	肯定的評価	R3比較
① 楽しく学校生活を過ごしている。	75.3%	20.5%	95.9%	+3.1
② 勉強時間に進んで考えたり、話し合ったりすることができた。	38.9%	42.2%	81.1%	+4.6
③ 友だちや先生・地域の人にすすんであいさつをしている。	54.9%	30.3%	85.3%	+0.5
④ マナーやきまりを守り、人にめいわくをかけないようにしている。	54.1%	37.1%	91.2%	+1.7
⑤ 友だちの気持ちを考え、こまっているときには、声をかけたり、何か行動したりしている。	45.7%	39.3%	85.1%	+0.9
⑥ 児童会活動など、さまざまな場で友だちとふれ合うことができて楽しい。	70.8%	22.1%	92.9%	—
⑦ 校内で安全に気をつけて生活している。	60.9%	29.6%	90.5%	+0.2
⑧ 自分や友だち身近な生物などの命を大切にしている。	71.4%	23.0%	94.5%	+0.9
⑨ 困ったときに、だれか（家族・友だち・先生など）に相談している。	52.5%	27.4%	80.0%	+4.9
⑩ 地域へ出かけたり、いろいろな人たちと出会ったりする機会が多い。	44.7%	25.3%	70.0%	+5.7
⑪ 家や学校で、すすんで読書をするすることができた。	44.7%	26.3%	71.6%	-0.6
⑫ 家では、すすんで学習することができた（宿題含む）	51.8%	29.7%	81.6%	+2.7
⑬ タブレットを使った学習では、内容がよくわかった。	56.2%	32.9%	89.2%	+1.5

※昨年度の設問⑥は縦割り活動の質問でしたので経年比較はできませんでした。

■児童アンケート結果より■

・昨年度との比較では、⑥を除く12項目中11項目について肯定的評価のポイントが上昇しました。全体的に児童の自己肯定感が高まっている傾向が伺えます。特に本年度は「一人残らず輝かせよう」を教職員の合言葉として、クラスの中で取り残されてしまう子がいないよう、1人ひとりに着目した指導を行うよう取組を進めています。

①が3.1ポイント上昇しているのはその結果として捉えています。しかし裏返すと18人の児童が学校生活を楽しく感じていないということです。さらに1人ひとりの思いを把握し、特に弱い立場にある子どもを見逃さない取組を引き続き行っていく必要があります。このことは⑨の結果と大きく関連しているものと捉えています。

・コロナの感染状況を踏まえつつ、話し合い活動や地域学習、出会い学習を再開してきた結果が②や⑩に表れてきたと捉えています。

・肯定的評価が低く且つポイントの上昇もみられないのが⑪です。今行っている朝読書以外に児童に読書の楽しみを味わわせ、読書が習慣化するための取組を行っていく必要があります。